



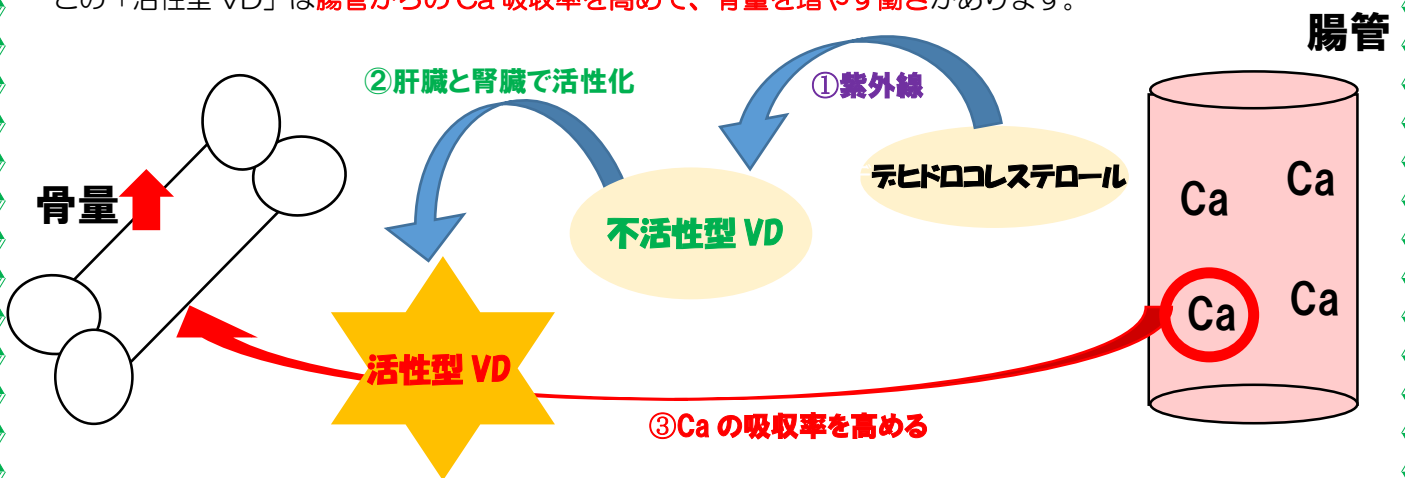
おくすり通信

No. 26 ビタミンD製剤

こんにちは、薬剤科です。今回はビスホスホネート系薬剤についてご紹介しました。今回は骨粗鬆症治療薬の一つであるビタミンD（VD）製剤とカルシウム（Ca）の関係性について説明していきます。

《ビタミンDの合成・吸収》

ビタミンDは体内の「デヒドロコステロール」という物質から、紫外線を受けて「不活性型VD」が合成されます。次に肝臓と腎臓によって「活性化VD」に変化し、この状態になって初めて作用を発揮します。この「活性化VD」は腸管からのCa吸収率を高めて、骨量を増やす働きがあります。



《カルシウムを多く含む食品》

1日に推奨されるCa摂取量は650mg(骨粗鬆症の予防には800mg)ですが、実際の日本人のCa摂取量は平均で550mg/日と推奨量を満たせていません。Caは魚や野菜などに含まれ、乳製品は特にCa含有量が多く、体に吸収されやすい食品です。以下に、Caの多い食品を挙げてみましたので、参考にして下さい。

Caの吸収率が良い	乳製品（牛乳、チーズ、ヨーグルト）
Caの吸収率が比較的良い	大豆製品（豆腐、油揚げ、納豆）
Caの吸収率は普通	魚類・海藻類（いわし、干エビ、煮干し、ひじき、ししゃも、しらす）
Caの吸収率はあまり良くない	小松菜、いりごま、大根の葉

《薬物の種類と特徴》

上記で説明したようにCaの吸収には「活性化VD」が必要になります。しかし、加齢などにより腎機能が低下することで「活性化VD」へ変換されにくくなります。最終的にはCaの吸収率が低下し、骨量が減少してしまうため、骨粗鬆症による骨折を起こしやすくなります。このような場合には、以下に示した活性化VD製剤を投与していきます。

一般名	商品名	特徴
アルファカルシドール	ワンアルファ、アルファロール	肝臓による活性化が必要
カルシトリオール	ロカルトロール	肝臓と腎臓での活性化が不要
エルデカルシトール	エディロール	Ca代謝改善効果が良好

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。